

2025年6月29日（日）第二礼拝「イエス様の御名の権威」使徒の働き3章1～10節

これは初代教会で起こった歴史的記録です。ペテロとヨハネが宮に上って行った時、生まれつき足のなえた人が運ばれて来ました。ペテロが彼に「イエスの御名によって歩きなさい。」と言った時、彼は立ち上がり癒されました。イエス様は私たちにイエス様の御名を与えてくださいました。信じてイエス様の御名を使う時、主の栄光が表されます。

第一番目、祈りの生活です。ペテロとヨハネは、午後三時の祈りの時間に宮に行き、イエス様の御名によって祈りました。宮にある祭壇を見る時、イエス様の贖いの御名、癒しの御名、勝利の御名を思い出すことができます。洗盤には、主が私たちの罪を赦しきよめてくださるというシャローム(安心感)があります。聖所には御言葉のパンの台と祈りの香壇、金の燭台があり、羊飼いである主を覚えます。至聖所においてイエス様の血による義、よみがえり、永遠のいのちの御名が私たちのうちに刻まれ、自分も周りの人々の人生も変えられます。ペテロとヨハネは毎日、足のなえた人が施しを求めていたのを見ていました。二人は主の祈りを通して彼のために祈り続けました。「天にいます、足のなえた男性の父よ。癒しの御名をあがめます。御国が来ますように。御心が天になるごとく、彼になりますように。日用の糧を与えてください。赦しを与えてください。試みに落ちないように悪から救い出してください。国と力と栄えとは永遠にあなたのものです。」ペテロは主の祈りを通して信仰が与えられ、足のなえた人にペテロの持つものをあげた結果、その人は癒され、歩き出しました。

第二番目、イエスの御名を宣言する時、主の臨在と救いがあります。「ふたりでも、三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」(マタイ 18:20) 主の御名があるところにイエス様も共におられ、主の御名を呼ぶ時に救いが与えられます。イエス様は七十人の弟子たちを二人ずつ派遣しました(ルカ 10:1～)。そして、帰って来た彼らは、イエス様の御名を使った時に悪霊が追い出され、救いと癒しが起こったことをイエス様に報告しました。同様に私たちがイエス様の御名を信じて宣言する時、イエス様とともにおられ、救いが起こるのです。「信じる人々には次のようなしるしが伴います。…わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばを語り、蛇をもつかみ、たとい毒を飲んでも決して害を受けず、また、病人に手を置けばいやされます。」(マルコ 16:17～18)

第三番目、イエス様の御名を宣言する時、礼拝が回復されます。足のなえた人は一度も神殿に入ったことがありませんでした。その当時、障害のある者は神殿に入ることができず、差別されていました。神殿では一日に二度、生贄が捧げられ、罪が赦され、感謝が溢れ、聖さが回復され、神様と和解することができました。そして、祈りと礼拝の生活により深く入っていったのです。ペテロがイエス様の御名を宣言した時、足のなえた人は踊り上がって歩きだし、神様を賛美しながら二人と共に宮に入って行きました。彼の人生は変えられ、初めて礼拝の場に入ることができたのです。彼の様子を見た人たちはとても驚きました。イエス様の御名を宣言する時、私たちの礼拝は回復されるのです。アーメン！